

# 地方自治法施行70周年を記念 団体表彰に舞鶴市

総務省が主催する地方自治法施行70周年を記念した式典が11月20日、東京国際フォーラム東京都千代田区で行われ、自治体自らが創意工夫し、優れた施策を展開し地方自治の充実発展に寄与したとして、舞鶴市が総務大臣から表彰（団体表彰）されました。これは、市民の皆さんと取り組んだ本市独自の舞鶴版地方創生が高く評価され、全国でも有数の取り組みであると認められたものです。式典には天皇皇后両陛下がご臨席される中、安倍晋三首相や野田聖子総務大臣、各自治体の関係者など約3,300人が出席しました。

舞鶴市が表彰された主な理由は、全国で7番目の早さで総合戦略を策定し「交流人口300万人・経済人口10万人」都市・舞鶴の実現に向けて地域一丸となって地方創生に取り組んでいることや、京都府北部地域連携都市圏形成を推進し、30万人都市の実現に向け京都府北部5市2町の会長市としてリーダーシップを発揮していることなどが評価されたものです。京都府下では本市をはじめ南丹市、井手町の3市町のほか3団体7個人が受賞しました。

今後も、これまでの成果を活かし、さらに未来のまちづくり、持続可能な行政運営に向けた取り組みを推進します。引き続き皆さんのお力添えをいただきますようお願いいたします。

《企画政策課》

## 受賞に至った 市の主な取り組みを紹介

### ① 京都府北部地域連携都市圏の推進

「人口減少」の課題が顕在化し、京都府北部5市2町それぞれが、単独で全ての機能を維持・確保していくことが困難となる中、各市町の強みを活かす、水平連携による機能強化を図り、京都府北部を一つの30万人都市圏として全体の活性化に取り組んでいます。

圏域の特性を活かした取り組みを進めるため、京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会を設立。会長市として事務局を担い、リーダーシップを発揮。また、「北の京都七つ星プロジェクト」として、①観光②産業③教育④人材⑤環境⑥行政サービスの共有化⑦リダンダンシー機能の強化

⑦交通ネットワークの7つの重点プロジェクトで構成された「連携ビジョン」を掲げ、着実な連携推進を図っています。

観光面では、京都府北部地域連携都市圏振興社（海の京都DMO）による広域観光誘客により、平成28年に北部地域の観光入込客数が1,000万人を突破しました。

### ② 京都舞鶴港の振興

関西経済圏における日本海側のゲートウェイである京都舞鶴港は、平成23年に国が指定する日本海側拠点港「国際フェリー・RORO船」「国際海上コンテナ」「外航クルーズ」の3つの機能に選定されました。

これを契機に、同年5、9、12月であったコンテナ貨物の取扱量は、平成29年は2倍に相当する過去最高の約1万3,000TEUとなり、ク

ルーズ入港回数は平成23年の4回から平成29年には39回に急増。平成27年度には日韓露国際フェリー航路が初めて開設され、人流・物流が飛躍的に拡大しています。

### ③ 交流人口の飛躍的な増加

京都舞鶴港の機能強化、高速道路ネットワークの完成、「赤れんが」「海を港」を活かした観光ブランド戦略を推進。また、引き揚げのまち舞鶴を世界に発信する「ユネスコ世界記憶遺産」への登録、赤れんが倉庫をはじめとする近代化遺産群の「日本遺産」認定など、地域の歴史・文化を活かした取り組みを進め、平成23年に約155万人であった交流人口は、平成29年には、市が目標としている300万人に手が届くところまで増加しています。

### ④ 地域医療の再生

かつて舞鶴市は、約10万人の人口に対して4つの公的病院が医療を提供する、全国的にも大変恵まれた医療環境を誇る京都府北部の医療の要所でありました。しかしながら、平成の時代に入り、近隣地域において公的病院の充実が図られたことや人口減少によって、市内の医療機関に対する医療需要が一般的に減少することとなり、患者数は漸次減少し、また、医師数も患者数に応じた体制へと縮小していったことに加え、平成16年に始まった新研修医制度により、医師の確保が困難になるなど、地域医療が混乱しました。

この課題解決を図るため、「京都府中丹地域医療再生計画」に基づき、医療機能の「選択と集中、分担と連携」の考えのもと、公的3病院が有する特色ある診療機能の充実と市民病院の療養病床への特化を行い、4病院が互いに連携することで、「あたかも一つの総合病院」として機能するよう再編し、地域医療の再生に努めました。

## 2 京都舞鶴港の振興

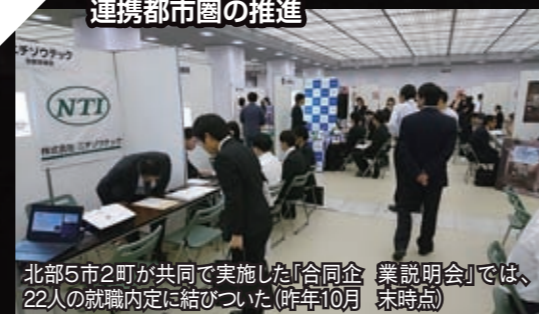


舞鶴港西港に入港するクルーズ客船「飛鳥II」



クルーズ客船の乗客が市内外へ観光に向かう

## 1 京都府北部地域 連携都市圏の推進



北部5市2町が共同で実施した「合同企業説明会」では、22人の就職内定に結びついた(昨年10月末時点)

## 4 地域医療の再生



## 3 交流人口の飛躍的な増加



赤れんが倉庫の壁面を使った3Dプロジェクションマッピング



にぎわう赤れんがパーク

# 地方自治法施行70周年記念式典



11月20日に行われた地方自治法施行70周年記念式典



野村賢治中丹広域振興局長(右)から表彰状と記念盾を受け取る多々見市長(左)(12月12日撮影)